

| 記者発表（資料配付） | | | | |
|---------------|--------------|------------------------------|---------------------|--------|
| 月／日（曜日） 時間 | 担当課・係 | TEL | 発表者名 （担当係長名） | その他配布先 |
| 9月5日（木） | 文化財課 文化財班 | （内線）5761 （外線）078-362-3783 | 課長 山下 史朗 （甲斐 昭光） | 加西市 |

文化財の県登録について

1. 発表概要

兵庫県教育委員会は、令和元年8月2日（金）に開催された文化財保護審議会（会長 山岸常人）の答申を受け、9月5日（木）に開かれる兵庫県教育委員会で議決し、新たに1件を登録文化財に登録する予定です。

その後、教育委員会告示として、兵庫県公報に登載予定です。
 ついては、その内容を発表します。

2. 登録物件

登録物件

あおのがはらふりよしゅうようしよしょうこうようふ ろ と う

(1) 青野原俘虜収容所将校用風呂棟 （加西市）

兵庫県登録文化財答申物件一覧表

| 種 類 | 名 称 | 員数 | 所 在 地 | 所 有 者 (管理 者) | |
|---------|-----|---|-------|-----------------|-------------------------|
| 登録有形文化財 | 建造物 | あおのがはらふりよしゅうようしょ 青野原俘虜収容所 しょうこうようふるとう 将校用風呂棟 | 1棟 | 加西市青野原町192-2 | 個人 (青野原俘虜収容所 保存会) |

兵庫県登録文化財答申物件概説

あおのがはら ぶりょしゅうようしよしょうこうようふるとう
1 青野原俘虜収容所将校用風呂棟 1棟 (加西市)

本建物は、JR加古川線青野原駅北西約2.9kmの場所にある。第一次世界大戦時にドイツ、オーストリア - ハンガリーからの俘虜を収容する“青野原俘虜収容所”として大正4年に建設された。風呂棟は、この将校用兵舎に付属する施設である。同時期に建設された兵舎など、ほかの施設は全体のうちの一部分が住宅の一部などとして利用されているものが2棟残存する以外、ほとんどが失われており、風呂棟は残存する数少ない施設の一つである。

建設当初の形態をとどめ、かつ、浴槽などの設備も残存しており、近代の俘虜収容施設の様子をうかがい知る建築として注目される。



外観



内部

(画像資料) 青野原俘虜収容所将校用風呂棟 (加西市)



01 正面



02 背面



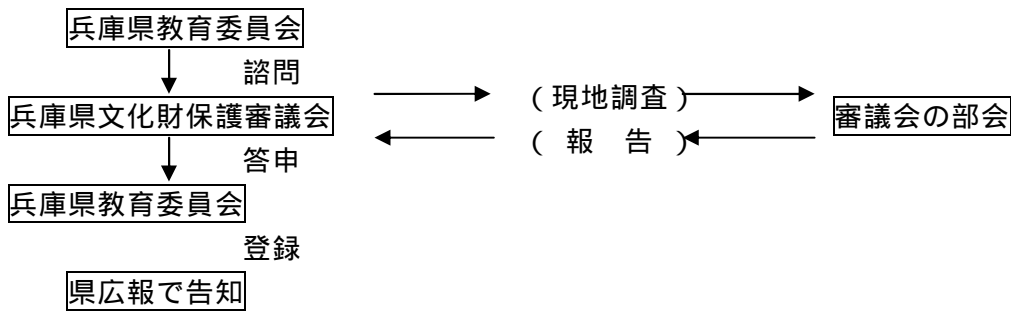
03 洗い場



04 浴槽

【資料】指定・登録物件の概要

1 指定・登録の流れ



(登録文化財)

第 19 条の 2 県委員会は、県の区域内に存する指定有形文化財及び法第 182 条第 2 項の規定に基づく市町の条例の規定による指定を受けた有形文化財以外の有形文化財（建造物であるものに限る。）のうち、その文化財としての価値にかんがみ保存及び活用のための措置が特に必要とされるものを文化財登録原簿に登録することができる。

2 統計資料（今回の県指定関係分）

| 登 録 | | | |
|-------|--------|--------|-----|
| | 現在の登録数 | 今回の登録数 | 累 計 |
| 建 造 物 | 2 2 | 1 | 2 3 |

県の文化財保護の体系

県の文化財の指定及び登録は、県教育委員会が兵庫県文化財保護審議会に諮問し、その答申を受けて行うこととなっています。文化財を種類ごとに整理すると次のようになります。

